

令和7年度春期 IT サービスマネージャ試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2025,7,3

4月20日(日)に行われた令和7年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、IT サービスマネージャ試験の分析コメントをお知らせします。

■IT サービスマネージャ試験試験 (SM)

[令和7年度春期 IT サービスマネージャ試験 統計情報]

応募者	2,898 人
受験者	2,002 人
合格者	295 人
合格率	14.7 %

令和7年度春期のIT サービスマネージャ試験の合格率は14.7%で前回の15.0%から少し低い結果でしたが、平成21年以降の現在の試験制度になってから平均的な合格率といえます。

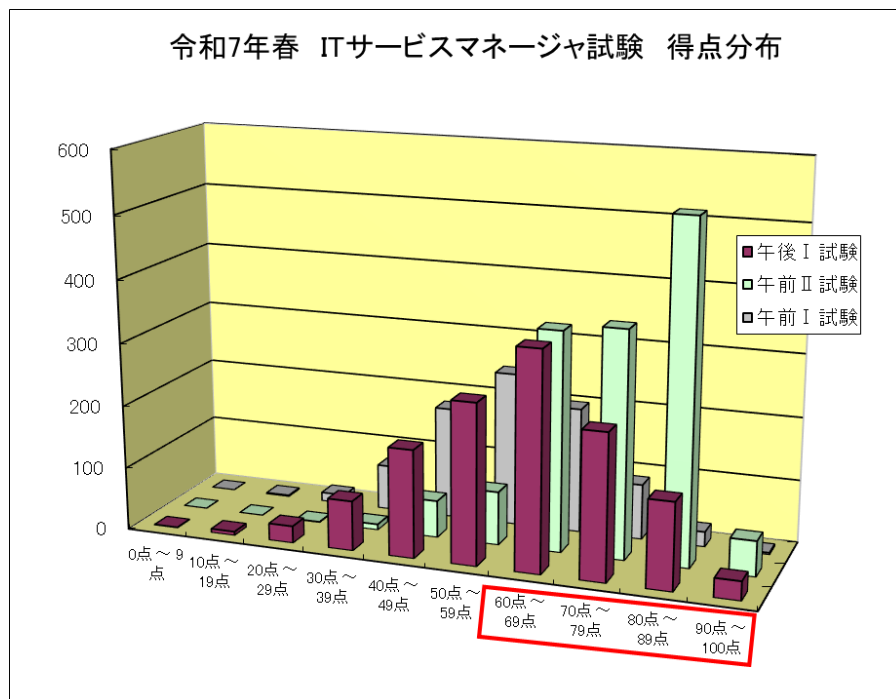
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和7年度春期 IT サービスマネージャ試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	1	D 57	
10点～19点	2	0	6		
20点～29点	14	1	27		
30点～39点	72	9	79		
40点～49点	178	59	171	B 267	
50点～59点	245	85	254		
60点～69点	199	347	344	A 295	
70点～79点	88	358	230		
80点～89点	24	532	137		
90点～100点	3	56	30		
計	825	1,447	1,279	739	295
対前試験比率		175.4%	88.4%	57.8%	39.9%
午前Ⅰ免除者(概数)	1,177	58.8%			

合格者数	295	採点者数の割合	合格者数との差
------	-----	---------	---------

午前Ⅰ 60 点以上合計	314	38.1%	19
午前Ⅱ 60 点以上合計	1,293	89.4%	998
午後Ⅰ 60 点以上合計	741	57.9%	446
午後Ⅱ-A 評価	295	39.9%	0



午前Ⅰ試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前Ⅰ試験の免除者は概算で 1,177 人（58.8%）おり、受験者の約半数の人が午前Ⅱからの受験となりました。

午前Ⅰ試験で基準点（60 点）以上の人は 314 人（受験者の 38.1%）で、前回の 49.3%から 10%以上も低い結果となりました。難しい問題が多く出題されたことが理由といえます。

午前Ⅱ試験で基準点以上の人は 1,293 人（受験者の 89.4%）で、前回 88.1%から少し低くなっていますが、ほぼ同じ結果といえます。

午後Ⅰで基準点（60 点）以上取れた人は 57.9%で、前回の 61.8%から 4%ほど低くなっています。

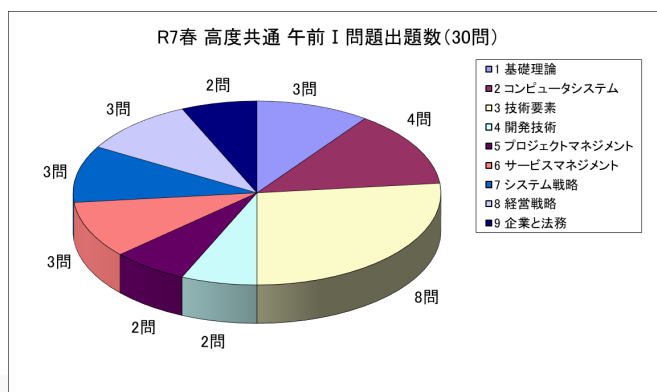
最後の午後Ⅱの論述式試験で合格点（A 評価）を取ることができた人は 39.9%で、前回の 38.8%から 1%ほど高くなっていますが、ほぼ同じ結果といえます。

■令和 7 年度春期 IT サービスマネージャ試験 出題内容について

〔午前Ⅰ試験（高度試験の共通知識問題）〕 30 問出題／30 問解答，50 分

高度試験で共通して出される午前Ⅰ試験の 30 問は，従来どおり，すべて応用情報技術者試験（AP）の午前試験 80 問の中から選ばれていて，テクノロジ系 17 問（57%）マネジメント系 5 問（17%）ストラテジ系 8 問（26%）という出題比率です。

午前Ⅰ試験には免除制度がありますが，高度試験を受ける人の約 4 割が午前Ⅰ試験から受験しています。今回の午前Ⅰ試験で 60 点以上の得点で突破できた人は高度試験全体で 44.6%いましたが，これまでは 5～6

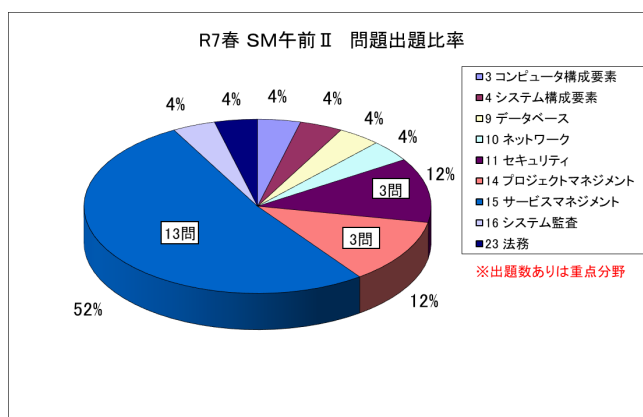


割の突破率なので，今回の試験が難しかったことを示しています。出題範囲が広いため問題を難しく感じる人がかなり多く，最初の午前Ⅰ試験でつまづかないように，早めに試験対策の学習を始め，確実に知識をつけていく必要があります。

- ・今回の午前Ⅰ試験は，6 割が過去問題でしたが，文章問題が減って，難しい問題も含む考察問題が増え，前回より解きづらく難しい試験だったといえます。
- ・重点分野のセキュリティの出題数は前回と同じ 4 問で，最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は 8 問で前回の 3 問から大きく増え，このことも試験が難しかった理由といえます。

〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕 25 問出題／25 問解答，40 分

IT サービスマネージャの午前Ⅱ試験の重点出題分野はサービスマネジメント，プロジ



エクトマネジメントとセキュリティの3分野になります。出題数は、サービスマネジメント分野の13問（前回と同じ）が最も多くなっています。今回もITIL4®関連で1問出題がありました。また、JIS Q 20000からの出題は6問（前回2問）あり、かなり多かったといえます。

過去問題は約6割ありましたが、サービスマネージャ試験の過去問題は8問（前回5問）で少し多くなっています。過去問の内訳を見ると、2回前のR5年試験が7問とかなり多い出題数になっています。2～3回前の試験問題は重点的に見ておく必要があります。

新傾向問題としては8問あり、前回6問から増えています。

〔午後Ⅰ試験（記述式）〕 3問出題／2問解答，90分

今回の午後Ⅰ問題の内容は、次のとおりでしたが、問1はインシデント対応の全体とSLA遵守の活動、問2は高可用性、アジャイル開発（スクラム）、DevOps、SRE、SLIとSLO、エラーバジェット、問3はバックアップに用いるクラウドサービスとリリース管理について、知識の理解が必要です。問3は少し難しい問題だったといえます。

- ・ 問1 インシデント管理プロセスの分析と改善（電子機器メーカー） 普通
- ・ 問2 高可用性システムの信頼性向上（動画配信サービス会社） やや易～普通
- ・ 問3 ITサービス継続管理（損害保険会社） 普通～やや難

〔午後Ⅱ試験（論述式）〕 2問出題／1問解答，120分

今回の午後Ⅱ問題では設問Aで記述する最低文字数（400字以上）の指定が加わりました。

問題内容は次のとおりですが、問1は顧客とのコミュニケーション内容に重点を置いて具体的に論述する必要があり、問2はリソース確保の柔軟性や高可用性などクラウドサービスで得られるメリットについて具体的に論述する必要があります。

- ・ 問1 顧客満足を向上させるための活動について
- ・ 問2 クラウドサービスを活用したITサービスのサービスマネジメント活動について



